

草津市の障害者福祉の動向

統計等による概況

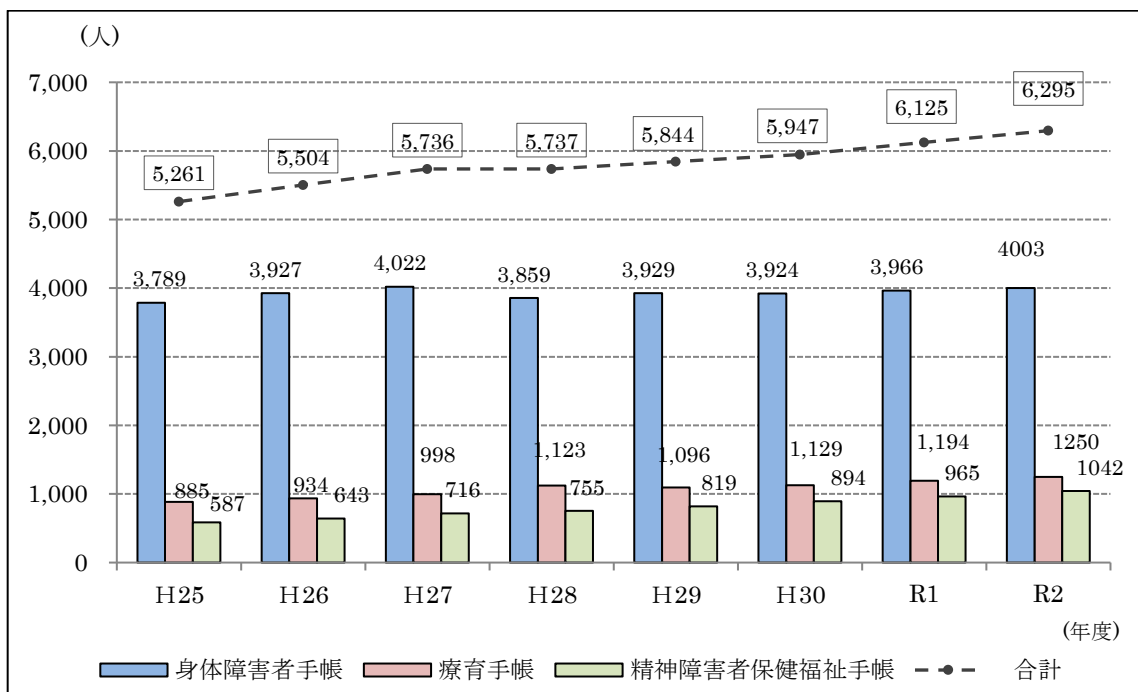
1 障害者の数

◆手帳所持者数と実在住者数

(単位：人 %)

年度	草津市の人口 A	障害者手帳所持者数 B (a+b+c)	対人口比 B/A	身体障害者手帳 a	比率 a/A	療育手帳 b	比率 b/A	精神障害者保健福祉手帳 c	比率 c/A
H25年度	127,610	5,261	4.12	3,789	2.97	885	0.69	587	0.46
H26年度	128,833	5,504	4.27	3,927	3.05	934	0.72	643	0.50
H27年度	130,485	5,736	4.40	4,022	3.08	998	0.76	716	0.55
H28年度	131,846	5,737	4.35	3,859	2.93	1,123	0.85	755	0.57
H29年度	132,917	5,844	4.40	3,929	2.96	1,096	0.82	819	0.62
H30年度	134,224	5,947	4.43	3,924	2.92	1,129	0.84	894	0.67
R1年度	135,116	6,125	4.53	3,966	2.94	1,194	0.88	965	0.71
R2年度	136,254	6,295	4.62	4,003	2.94	1,250	0.92	1,042	0.76

資料：福祉行政報告例



草津市の手帳所持者の総数は、6,295人であり、人口の4.62%に相当します。約22人に1人が障害者であり、身体障害者4,003人、知的障害者1,250人、精神障害者1,042人となります。障害者数全体としては増加傾向となっています。

2 身体障害者の現状

① 障害等級別の身体障害者手帳所持者数の推移

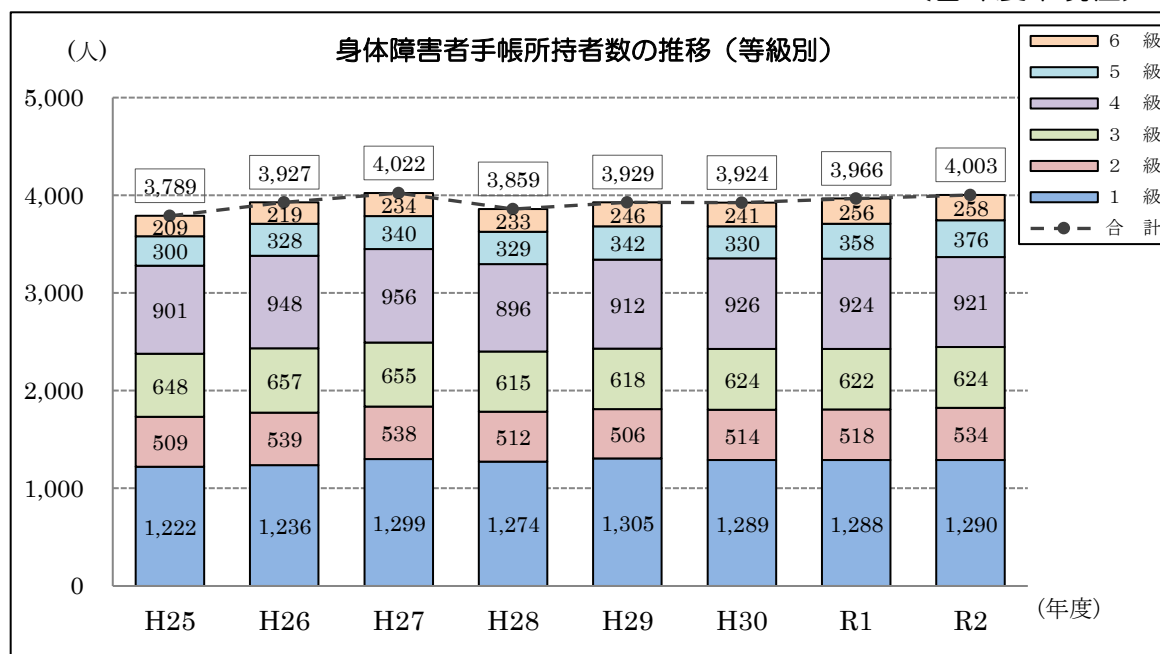
(単位：人)

人数	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1 級	1,222	1,236	1,299	1,274	1,305	1,289	1,288	1,290
2 級	509	539	538	512	506	514	518	534
3 級	648	657	655	615	618	624	622	624
4 級	901	948	956	896	912	926	924	921
5 級	300	328	340	329	342	330	358	376
6 級	209	219	234	233	246	241	256	258
合計	3,789	3,927	4,022	3,859	3,929	3,924	3,966	4,003
前年度増加率	1.04	1.04	1.02	0.96	1.02	1.00	1.01	1.02

(単位：%)

割合	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1 級	32.3	31.5	32.3	33.0	33.2	32.9	32.4	32.2
2 級	13.4	13.7	13.4	13.3	12.9	13.1	13.1	13.4
3 級	17.1	16.7	16.3	15.9	15.7	15.9	15.7	15.6
4 級	23.8	24.1	23.8	23.2	23.2	23.5	23.3	23.0
5 級	7.9	8.4	8.5	8.5	8.7	8.4	9.0	9.4
6 級	5.5	5.6	5.8	6.0	6.3	6.1	6.5	6.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1・2級の割合	45.7	45.2	45.7	46.3	46.1	45.9	45.5	45.6

(各年度末現在)



身体障害者は増加傾向ですが、平成28年度に減少しているのは台帳を整理したためです。令和2年度では、身体障害者数全体の約46%（1,824人）が手帳1級・2級の重度障害者です。直近では5、6級の軽度の方の手帳取得が進んでいます。

②障害部位別の身体障害者手帳所持者数の推移

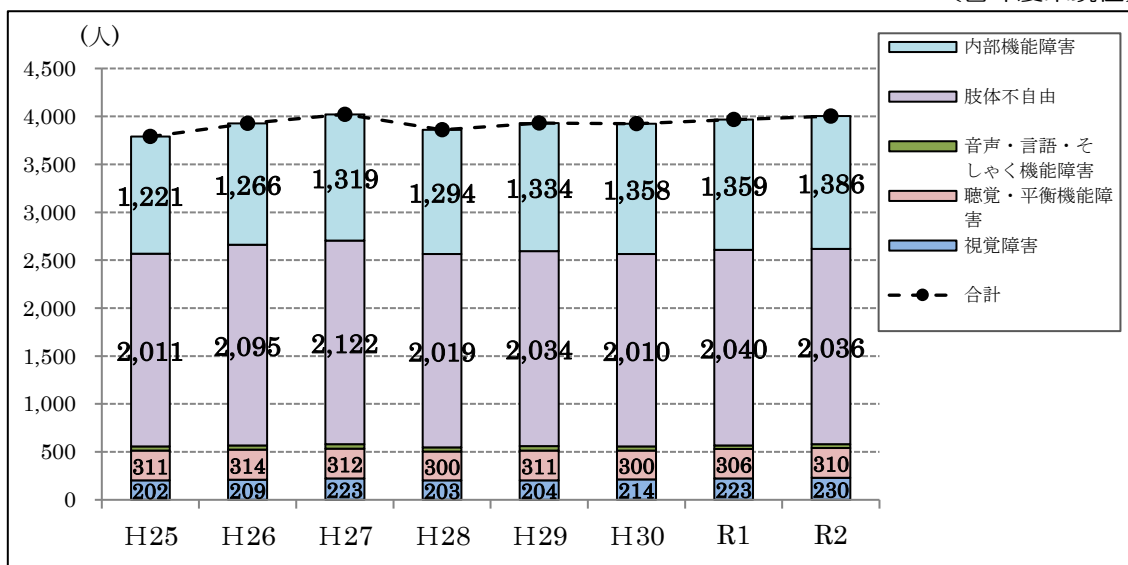
(単位：人)

人数	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
視覚障害	202	209	223	203	204	214	223	230
聴覚・平衡機能障害	311	314	312	300	311	300	306	310
音声・言語・そしゃく機能障害	44	43	46	43	46	42	38	41
肢体不自由	2,011	2,095	2,122	2,019	2,034	2,010	2,040	2,036
心臓障害	690	711	736	718	744	747	761	772
じん臓障害	287	297	311	328	332	332	326	338
呼吸器障害	65	65	71	65	64	68	64	62
膀胱・直腸・免疫不全	168	180	187	170	180	196	193	200
肝臓障害(※1)	11	13	14	13	14	15	15	14
内部機能障害 小計	1,221	1,266	1,319	1,294	1,334	1,358	1,359	1,386
合計	3,789	3,927	4,022	3,859	3,929	3,924	3,966	4,003

(単位：%)

割合	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
視覚障害	5.3	5.3	5.5	5.3	5.2	5.5	5.6	5.8
聴覚・平衡機能障害	8.2	8.0	7.8	7.8	7.9	7.6	7.7	7.8
音声・言語・そしゃく機能障害	1.2	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.0	1.0
肢体不自由	53.1	53.3	52.8	52.3	51.8	51.2	51.4	50.9
心臓障害	18.2	18.1	18.3	18.6	18.9	19.0	19.2	19.3
じん臓障害	7.6	7.6	7.7	8.5	8.4	8.5	8.2	8.4
呼吸器障害	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6	1.7	1.6	1.5
膀胱・直腸・免疫不全	4.4	4.6	4.6	4.4	4.6	5.0	4.9	5.0
肝臓障害(※1)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3
内部機能障害 小計	32.2	32.2	32.8	33.5	34.0	34.6	34.3	34.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)



令和2年度では、車いすや歩行器使用者等の肢体不自由が2,036人(50.9%)、内部機能障害のうちペースメーカーなどの心臓機能障害が772人(19.3%)、人工透析などの腎臓機能障害338人(8.4%)と続きます。近年の傾向としては、心臓機能障害、腎臓機能障害の占める割合が増加しています。

3 知的障害者の現状

◆総合判定別の療育手帳所持者数の推移

(単位：人)

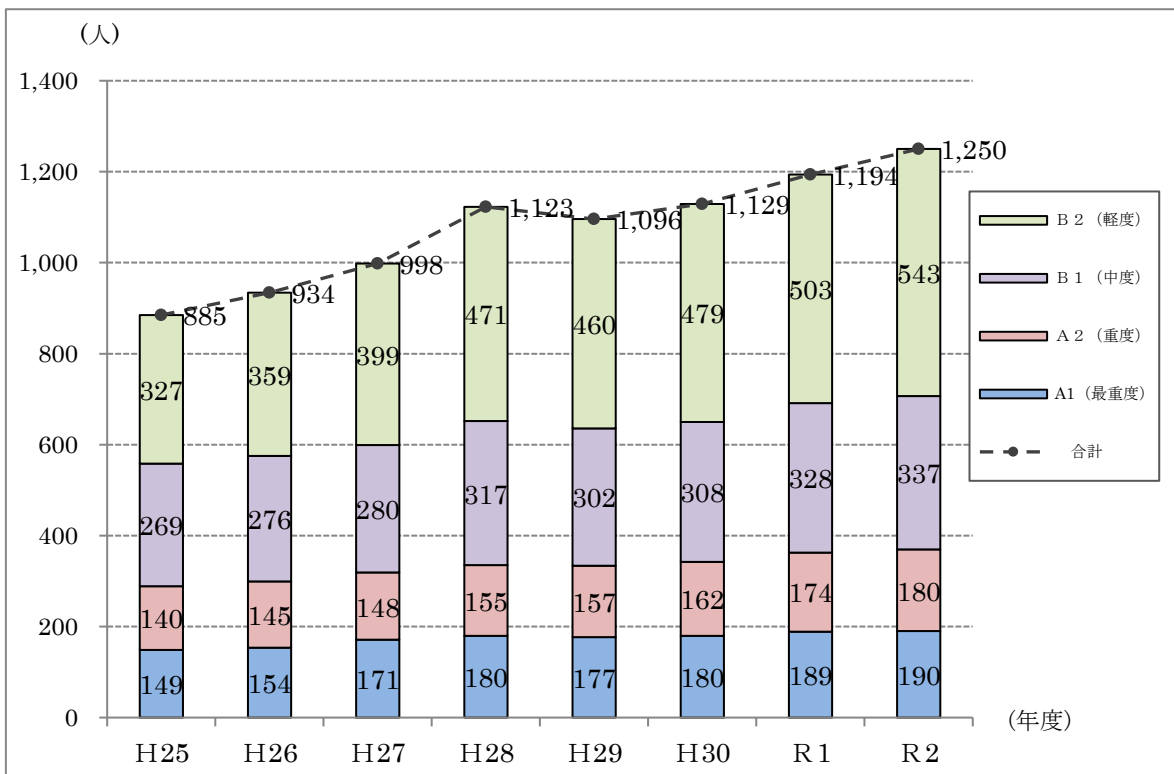
人数	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
A1 (最重度)	149	154	171	180	177	180	189	190
A2 (重度)	140	145	148	155	157	162	174	180
B1 (中度)	269	276	280	317	302	308	328	337
B2 (軽度)	327	359	399	471	460	479	503	543
合計	885	934	998	1,123	1,096	1,129	1,194	1,250
前年度増加率	1.03	1.06	1.07	1.13	0.98	1.03	1.06	1.05

(単位：%)

割合	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
A1 (最重度)	16.8	16.5	17.1	16.0	16.1	15.9	15.8	15.2
A2 (重度)	15.8	15.5	14.8	13.8	14.3	14.3	14.6	14.4
B1 (中度)	30.4	29.6	28.1	28.2	27.6	27.3	27.5	27.0
B2 (軽度)	36.9	38.4	40.0	41.9	42.0	42.4	42.1	43.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)

資料：福祉行政報告例



知的障害者は平成29年度では若干減少していますが、平成30年度以降は増加しています。令和2年度では全体の約30%（370人）が手帳A1・A2の重度障害者となっています。特に手帳B2（軽度）の増加率が大きく、周知啓発や関係機関等において支援につなげる取り組みが進んでいるため、増加傾向になっているものと思われます。

4 精神障害者の現状

◆等級別の精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

(単位：人)

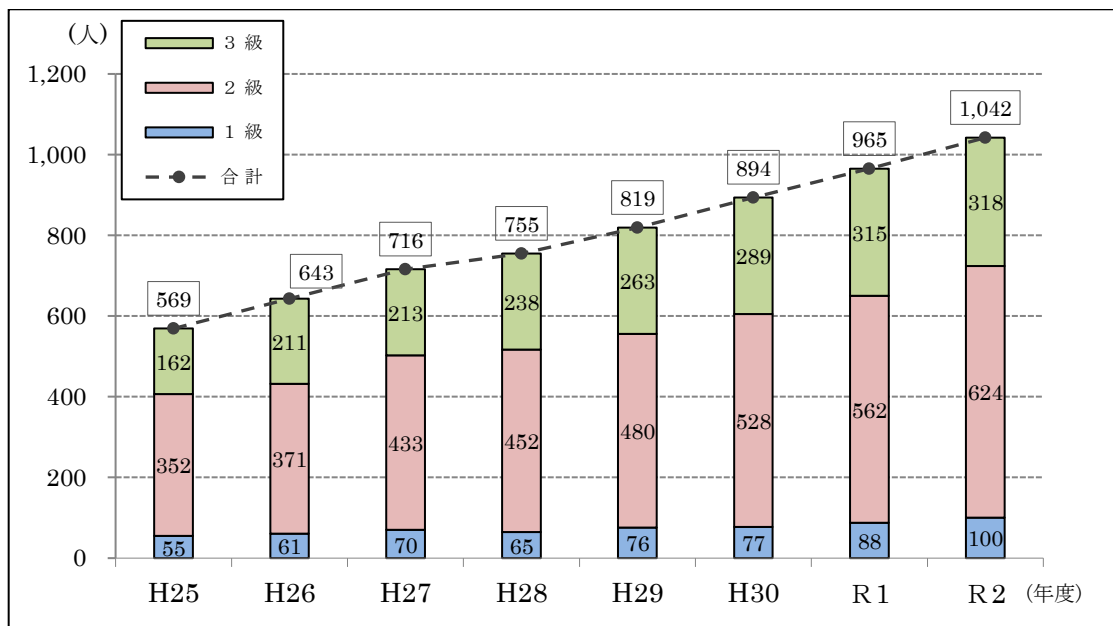
人数	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1 級	55	61	70	65	76	77	88	100
2 級	352	371	433	452	480	528	562	624
3 級	162	211	213	238	263	289	315	318
合計	569	643	716	755	819	894	965	1,042
前年度増加率	1.03	1.13	1.11	1.05	1.08	1.09	1.08	1.08

(単位：%)

割合	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1 級	9.7	9.5	9.8	8.6	9.3	8.6	9.1	9.6
2 級	61.9	57.7	60.5	59.9	58.6	59.1	58.2	59.9
3 級	28.5	32.8	29.7	31.5	32.1	32.3	32.7	30.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(各年度末現在)

資料：障害福祉課調べ



精神障害者は毎年増加しております。等級別の増減としては、手帳1～3級のすべてにおいて増加しています。また、全体の約69%（724人）が手帳1級・2級の重度障害者となっています。

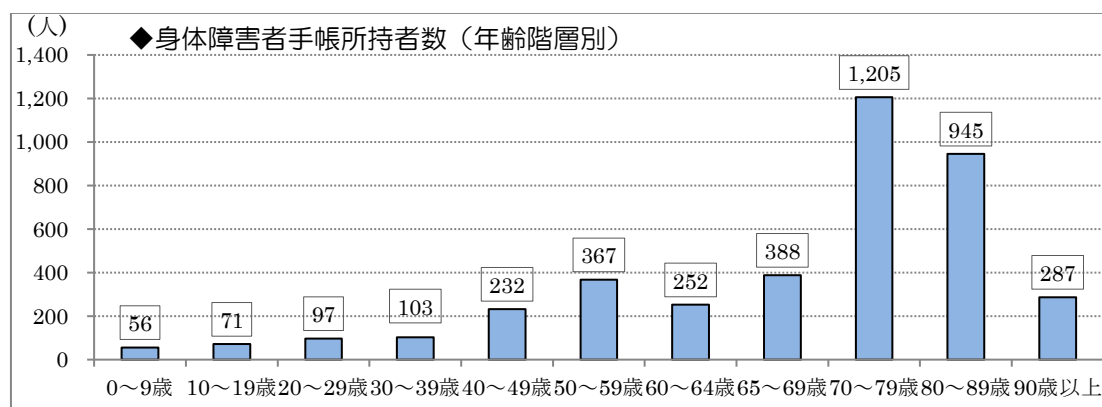
5 年齢階層別手帳所持者数

区分	等級別						計	※障害部位別				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級		視覚	聴/平	音言そ	肢体	内部
0～9歳	32	6	10	4	2	2	56	2	6	1	38	9
10～19歳	42	8	9	8	1	3	71	1	10	0	47	13
20～29歳	35	20	15	18	4	5	97	8	10	2	55	22
30～39歳	47	24	9	13	7	3	103	4	18	5	40	36
40～49歳	78	41	31	31	36	15	232	13	18	3	127	71
50～59歳	107	80	47	71	36	26	367	21	35	2	206	103
60～64歳	85	31	29	57	39	11	252	14	12	3	139	84
65～69歳	117	58	60	90	44	19	388	28	19	2	215	124
70～79歳	382	145	183	308	113	74	1,205	67	55	13	600	470
80～89歳	278	92	174	245	77	79	945	55	89	10	444	347
90歳以上	87	29	57	76	17	21	287	17	38	0	125	107
合計	1,290	534	624	921	376	258	4,003	230	310	41	2,036	1,386
うち65歳未満	426	210	150	202	125	65	1,178	63	109	16	652	338
うち65歳以上	864	324	474	719	251	193	2,825	167	201	25	1,384	1,048
65歳未満の割合	33.0%	39.3%	24.0%	21.9%	33.2%	25.2%	29.4%	27.4%	35.2%	39.0%	32.0%	24.4%
65歳以上の割合	67.0%	60.7%	76.0%	78.1%	66.8%	74.8%	70.6%	72.6%	64.8%	61.0%	68.0%	75.6%

資料：福祉行政報告例・障害福祉課調べ

※ 障害部位について、「視覚」は視覚障害、「聴/平」は聴覚・平衡機能障害、「音言そ」は音声・言語・そしゃく機能障害、「肢体」は肢体不自由、「内部」は内部機能障害をそれぞれ表します。

また、集計にあたり各種障害部位を併せ持つ（重複している）方については、代表的な障害部位で計上しています。



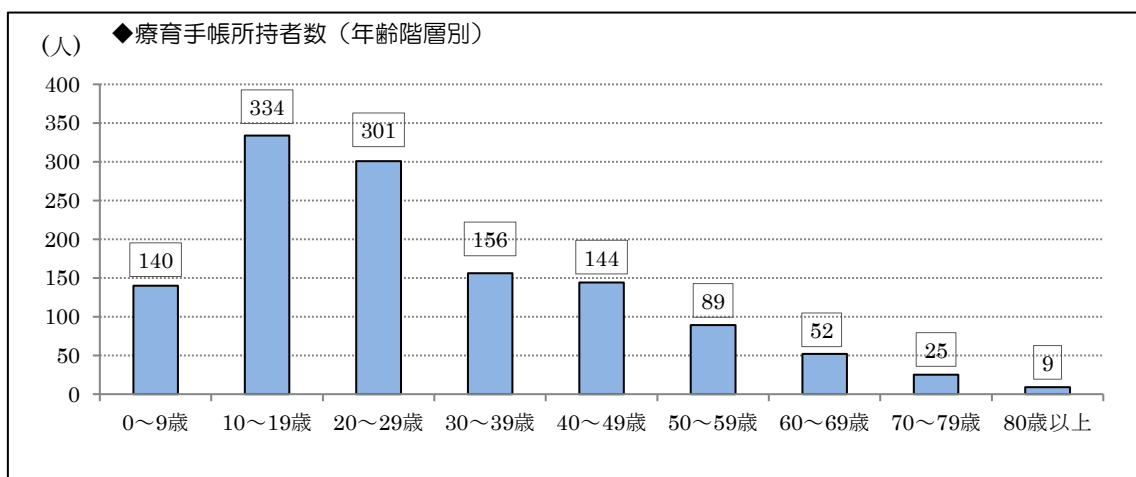
65歳以上が全体の70.6%（2,825人）を占めており、障害者の高齢化や加齢に伴う手帳取得が進んでいます。障害部位別の年齢階層別をみると、特に70歳以上の肢体不自由ならびに内部障害がとりわけ高い数値となっています。

②療育手帳所持者数（年齢階層別）

（単位：人）

区分	A1	A2	B1	B2	計
0～9歳	18	21	25	76	140
10～19歳	42	47	71	174	334
20～29歳	45	39	99	118	301
30～39歳	32	28	43	53	156
40～49歳	25	22	44	53	144
50～59歳	12	10	30	37	89
60～69歳	10	8	15	19	52
70～79歳	4	3	8	10	25
80歳以上	2	2	2	3	9
合計	190	180	337	543	1,250

資料：福祉行政報告例・障害福祉課調べ

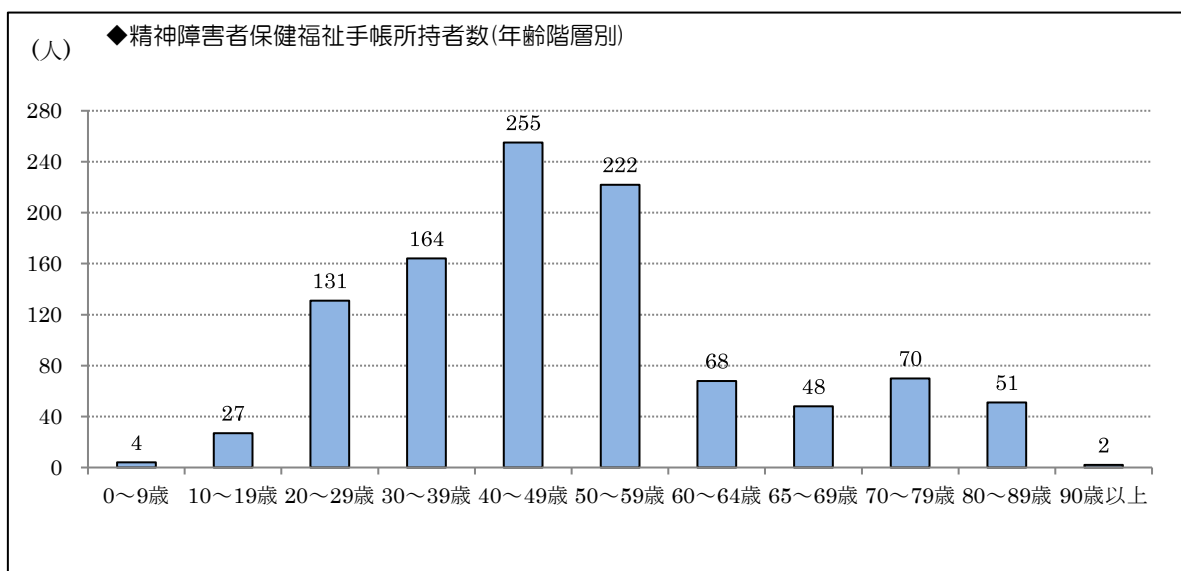


20歳未満が全体の約38%（474人）を占めています。20歳未満では、平成28年度447人、平成29年度461人、平成30年度459人、令和元年度462人、令和2年度474人と推移しており、早期療育等の取り組みのなかで若年層の手帳取得が増えているものと思われます。10～19歳で特に多い理由は、就職活動などにおいて手帳の利用ニーズが高まることが一因だと思われます。

③精神障害者保健福祉手帳所持者数（年齢階層別）

（単位：人）

区分	1級	2級	3級	計
0～9歳	0	2	2	4
10～19歳	1	18	8	27
20～29歳	6	70	55	131
30～39歳	6	96	62	164
40～49歳	12	160	83	255
50～59歳	14	141	67	222
60～64歳	8	38	22	68
65～69歳	5	33	10	48
70～79歳	19	42	9	70
80～89歳	29	22	0	51
90歳以上	0	2	0	2
合計	100	624	318	1042



20歳以上から59歳までの所持者数が全体の約74%（772人）を占めており、特に40歳代から50歳代の所持者が多くなっています。

6 障害支援区分の認定

◆障害支援区分認定者数の推移

(単位：人)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
区分1	71	53	32	31	27	21	20
身体障害者	4	6	2	3	3	3	3
知的障害者	29	23	17	17	17	10	11
精神障害者	38	24	13	11	7	8	6
区分2	105	134	137	147	141	159	148
身体障害者	10	15	15	16	17	19	12
知的障害者	61	68	61	72	68	62	56
精神障害者	34	51	61	59	56	78	80
区分3	83	73	81	93	97	106	118
身体障害者	19	18	15	15	13	13	11
知的障害者	49	45	52	52	51	55	72
精神障害者	15	10	14	26	33	38	35
区分4	63	62	63	75	79	77	86
身体障害者	9	17	11	13	14	16	14
知的障害者	47	39	42	45	48	45	55
精神障害者	7	6	10	17	17	16	17
区分5	60	66	60	60	60	70	62
身体障害者	13	24	15	15	14	22	21
知的障害者	45	41	43	44	43	44	39
精神障害者	2	1	2	1	3	4	2
区分6	87	104	117	120	128	126	137
身体障害者	26	29	31	33	31	32	59
知的障害者	61	74	85	86	96	93	78
精神障害者	0	1	1	1	1	1	0
合計	469	492	490	526	532	559	571
身体障害者	81	109	89	95	92	105	120
知的障害者	292	290	300	316	323	309	311
精神障害者	96	93	101	115	117	145	140
割合(%)	100	100	100	100	100	100	100
身体障害者	17.27	22.15	18.16	18.06	17.29	18.78	21.01
知的障害者	62.26	58.95	61.23	60.08	60.72	55.28	54.47
精神障害者	20.47	18.90	20.61	21.86	21.99	25.94	24.52

(各年度末現在)

資料：障害福祉課調べ

※ 障害程度区分の認定は18才以上の障害のある人を対象としています。

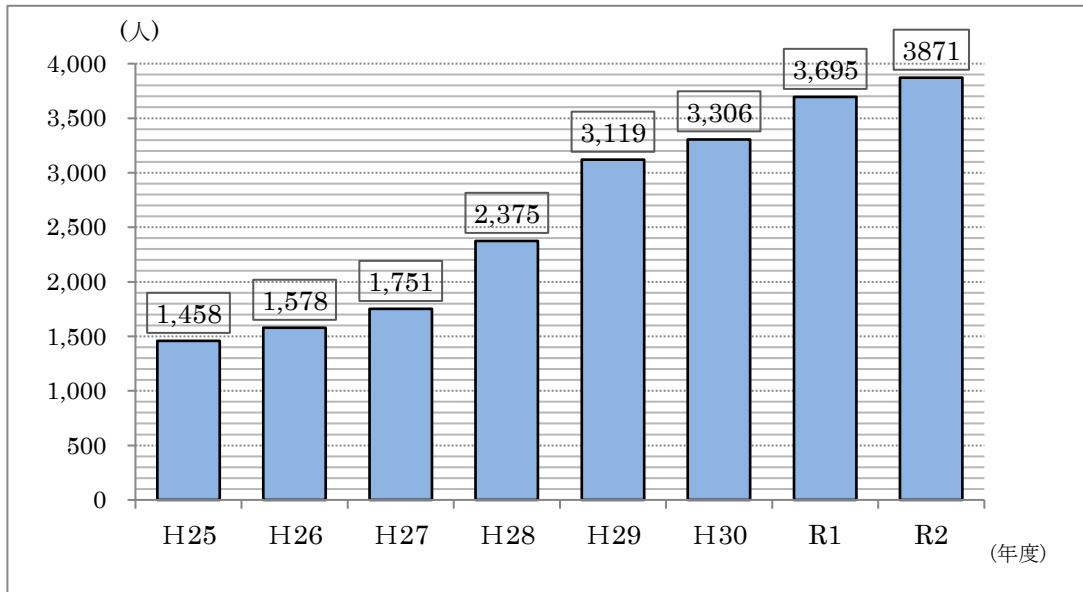
※ 平成26年4月から、障害程度区分は障害支援区分となりました。

障害支援区分認定者数全体としては、近年増加しており、身体障害者の割合が年々増加しております。区分6の重度の認定が増加している一方、区分1の軽度の認定は減少しています。

7 医療・保健の概況

①自立支援医療

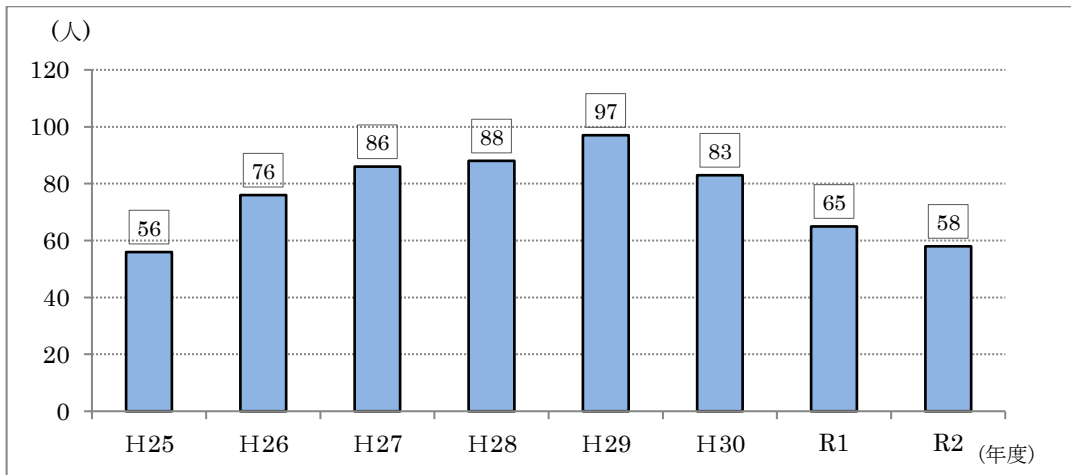
◆更生医療



(各年度末現在)
資料：福祉行政報告例

加齢等に伴う身体障害者数の増加により、利用者が増えています。人工透析、ペースメーカー埋め込み術、人工関節施行術などが該当しますが、特に人工透析は対象となる方が増えています。

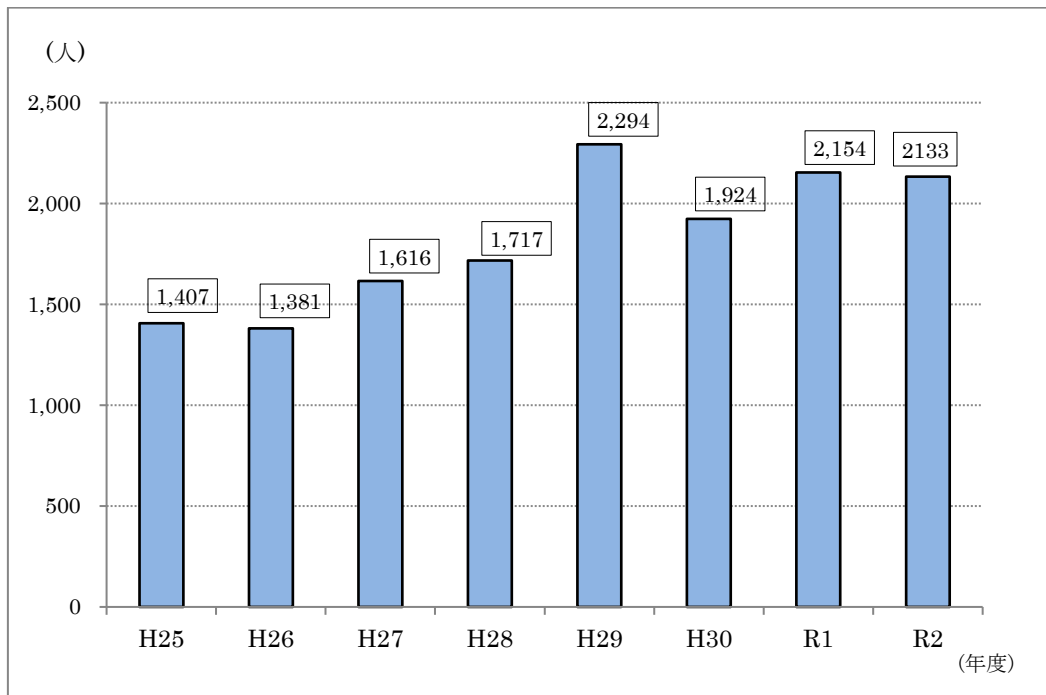
◆育成医療



(各年度末現在)
資料：福祉行政報告例

平成25年度から平成29年度まで制度の普及により利用者が増えていましたが平成30年度からは減少しています。治療を終了した方が増えたことや、新規申請が少なかったことが要因です。

◆精神通院医療



(各年度末現在)

資料：障害福祉課調べ

平成26年度から平成29年度までは増加し、平成30年度は減少していますが、その後は横ばいで推移しています。

②精神保健対策

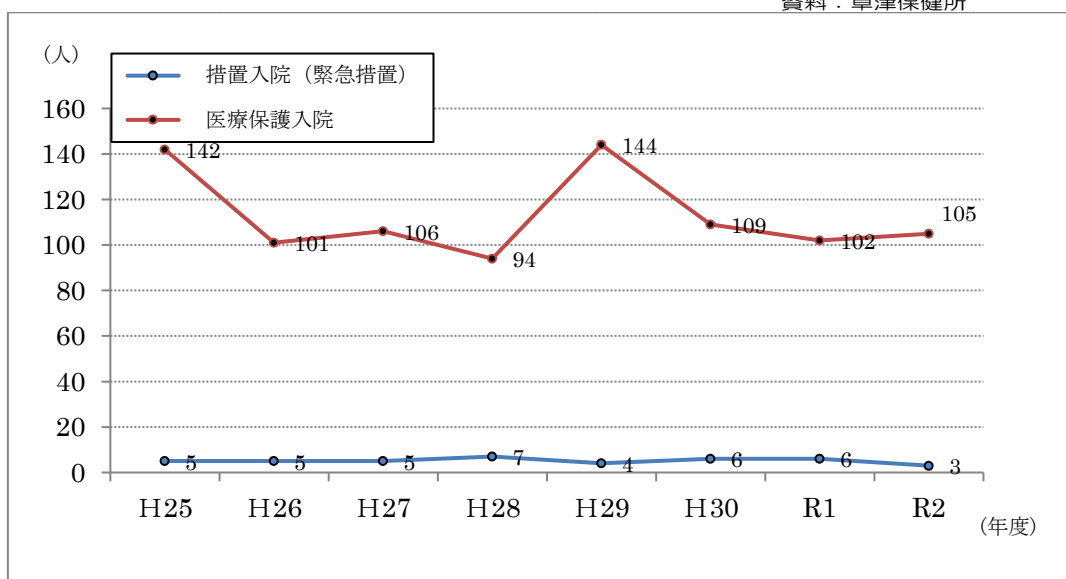
■入院患者数の推移

(単位：人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
措置入院(緊急措置)	5	5	5	7	4	6	6	3
医療保護入院	142	101	106	94	144	109	102	105

(各年度末現在)

資料：草津保健所



措置入院と医療保護入院については、ほぼ横ばいで推移しています。

第2節 障害等のある幼児・児童・生徒の推移等

1 就学前児童の状況

①保育所、認定こども園（保育認定）における障害児保育

(単位：園 人 %)

項目		年度								
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
公立	園数	6	6	6	7	7	6	8	11	12
	園児 人	628	619	633	663	686	594	661	690	677
	加配対象園児 人	42	45	42	41	43	45	69	63	60
	対比 %	6.7	7.3	6.6	6.2	6.3	7.6	10.4	9.1	8.9
私立	園数	13	13	13	16	17	19	21	24	28
	園児 人	2,071	2,135	2,221	2,425	2,694	2,813	2,832	3,013	3,206
	加配対象園児 人	57	52	47	40	51	64	62	62	72
	対比 %	2.8	2.4	2.1	1.6	1.9	2.3	2.2	2.1	2.2
合計	園数	19	19	19	23	24	25	29	35	40
	園児 人	2,699	2,754	2,854	3,088	3,380	3,407	3,493	3,703	3,883
	加配対象園児 人	99	97	89	81	94	109	131	125	132
	対比 %	3.7	3.5	3.1	2.6	2.8	3.2	3.8	3.4	3.4

(各年5月1日現在)

資料：幼児課

※ 令和元年度から志津と山田の公立幼稚園が認定こども園化されたことに伴い、公立の加配対象園児が増加しています。ただし、認定こども園の園児数については保育認定対象を上記の障害児保育で、教育認定対象を下記の障害児教育で計上しています。

②幼稚園（公立のみ）、認定こども園（教育認定）における障害児教育単位：園 人 %

項目		年度								
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
公立	園数	10	10	10	11	11	10	10	10	10
	園児 人	725	778	775	818	820	722	733	723	640
	加配対象園児 人	40	45	54	59	53	49	31	67	60
	対比 %	5.5	5.8	7.0	7.2	6.5	6.8	4.2	9.3	9.4
私立	園数				1	1	5	10	13	17
	園児 人				100	108	207	385	363	383
	加配対象園児 人				0	1	3	9	10	7
	対比 %				0.0	0.9	1.4	2.3	2.8	1.8
合計	園数	10	10	10	12	12	15	20	23	27
	園児 人	725	778	775	918	928	929	1,118	1,086	1,023
	加配対象園児 人	40	45	54	59	54	52	40	77	67
	対比 %	5.5	5.8	7.0	6.4	5.8	5.6	3.6	7.1	6.5

保育所、保育認定の認定こども園の加配対象児については、令和3年度は132人であり、約29人に1人の割合となっています。公立幼稚園、教育認定の認定こども園の加配対象児については、令和3年度は67人であり、約15人に1人の割合となっています。

2 学校教育の状況

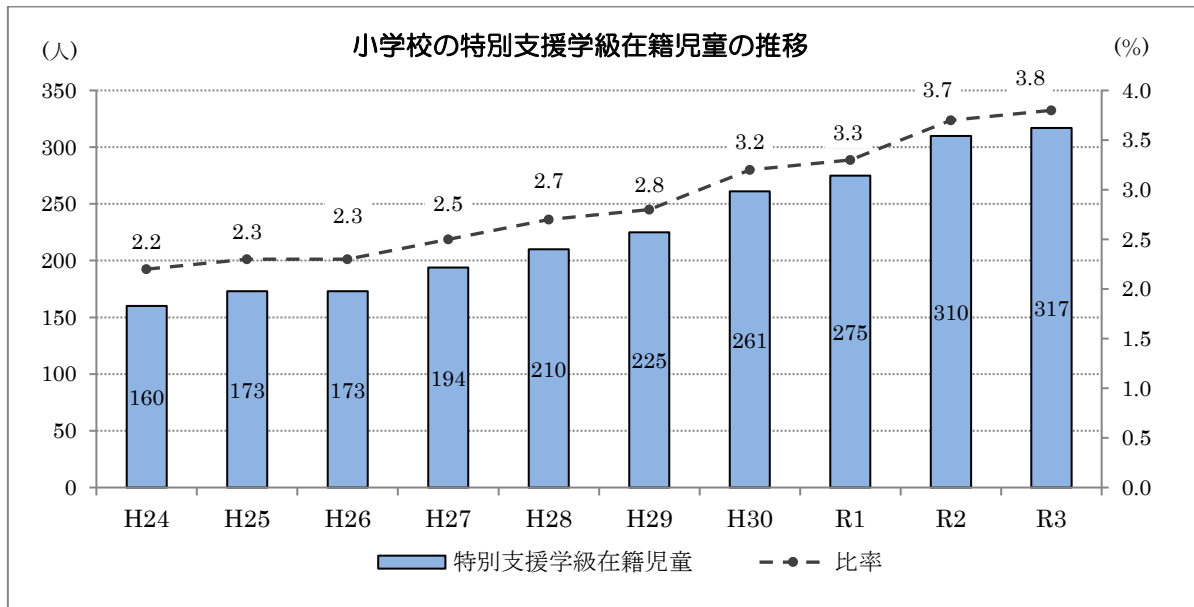
①公立小学校の特別支援教育

(単位：CL 人 %)

年度項目		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
実学級	CL	289	295	304	311	314	326	333	335	337
特別支援学級	CL	42	45	47	50	52	55	61	60	64
児童	人	7,495	7,567	7,715	7,818	7,964	8,179	8,282	8,367	8,382
普通学級在籍児童	人	7,322	7,394	7,521	7,608	7,739	7,918	8,007	8,057	8,065
特別支援学級在籍児童	人	173	173	194	210	225	261	275	310	317
対比	%	2.3	2.3	2.5	2.7	2.8	3.2	3.3	3.7	3.8

(各年5月1日現在)

資料：児童生徒支援課



特別支援学級在籍児童については、年々増加傾向にあります。令和3年度は317人であり、約26人に1人の割合となっています。

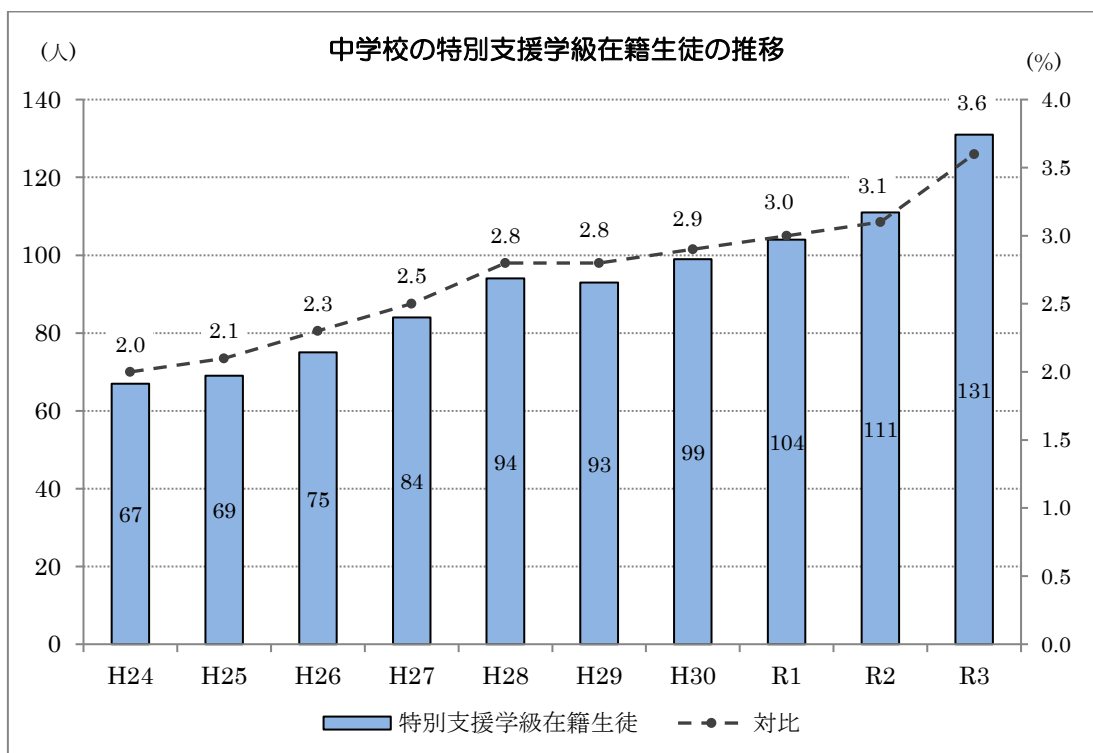
②公立中学校の特別支援教育

(単位：CL 人 %)

年度項目	年	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
実学級	CL	120	122	118	123	122	120	125	130	132
特別支援学級	CL	20	22	18	21	19	17	20	22	24
生徒	人	3,298	3,266	3,317	3,341	3,380	3,363	3,468	3,526	3,615
特別支援学級在籍生徒	人	69	75	84	94	93	99	104	111	131
対比	%	2.1	2.3	2.5	2.8	2.8	2.9	3.0	3.1	3.6

(各年5月1日現在)

資料：児童生徒支援課



特別支援学級在籍生徒については、年々増加傾向にあります。令和3年度は131人であり、約28人に1人の割合となっています。

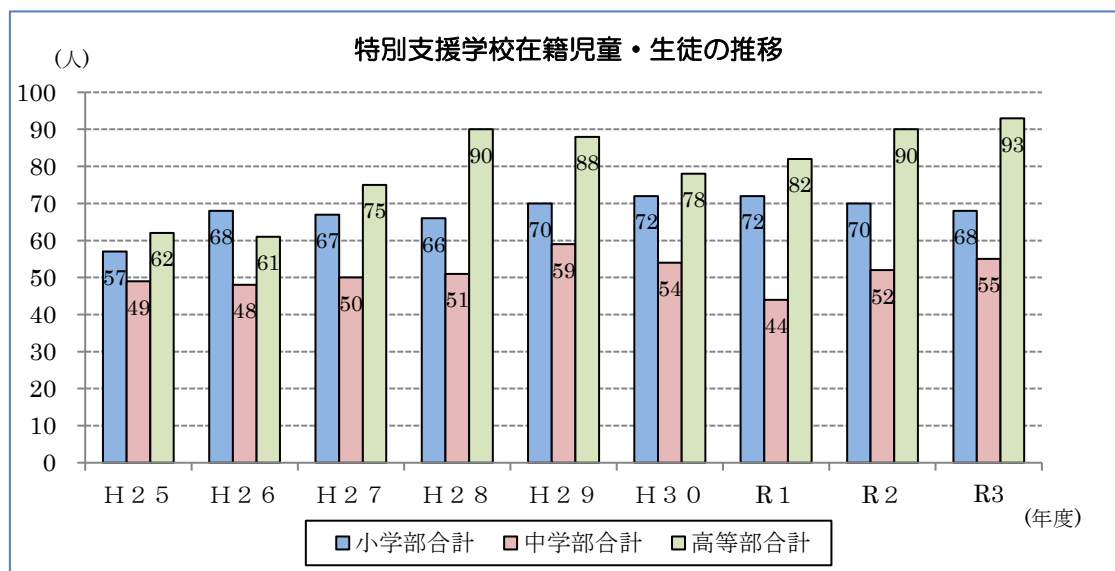
3 特別支援学校の児童・生徒

(単位 人)

区分	学校	年度								
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
小学部	滋賀県立盲学校	0	1	1	1	1	1	1	0	0
	滋賀県立聾話学校	6	5	3	4	2	3	2	2	2
	滋賀県立草津養護学校	51	62	62	61	67	68	69	67	66
	滋賀県立三雲養護学校			1	0	0	0	0	0	0
	滋賀大学附属特別支援学校								1	0
	合計	57	68	67	66	70	72	72	70	68
中学部	滋賀県立盲学校	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	滋賀県立聾話学校	1	2	3	2	1	1	1	1	1
	滋賀県立草津養護学校	48	46	44	46	57	52	42	42	46
	滋賀県立三雲養護学校			3	3	1	1	1	3	3
	滋賀大学附属特別支援学校								5	4
	合計	49	48	50	51	59	54	44	52	55
高等部	滋賀県立盲学校	2	1	2	0	1	1	0	0	0
	滋賀県立聾話学校	0	0	0	1	2	2	1	1	1
	滋賀県立草津養護学校	55	55	57	66	60	54	56	68	65
	滋賀県立甲南高等養護学校	4	5	4	3	4	4	6	7	12
	滋賀県立三雲養護学校			10	14	12	7	5	11	12
	滋賀大学附属特別支援学校	1	0	2	6	9	10	14	3	3
	合計	62	61	75	90	88	78	82	90	93

(各年5月1日現在)

資料：障害福祉課調べ



特別支援学校在籍児童・生徒については、年々増加傾向にあります。草津養護学校小学部の在籍児童数が近年増加しています。